

豆まきをしました



ひな壇を出しました



利用者様に新聞紙でボールを作っていたいただき、無事今年も鬼を撃退していただきました。笑顔も見えておりますが、実際見たら子供だったら泣いて逃げ出すぐらい怖いと思います。ひな壇を出した際は「きれいねえ」と言いながらじっと見られておりました。女性はどこか惹かれるものがあるのでしょうか。

雛山を見に行きました(大淀川学習館)



大淀川学習館に雛山を見に行きました。冬の間あまり外出できなかったのが、久しぶりの外出に皆さん笑顔でした。段々と暖かくなってきたので今年もいろんなところに出かけていきたいですね。

社長による職員紹介

今回は訪問看護ステーション翔の理学療法士、小田亜矢さんの紹介です。高校時代、バレー中のケガでリハビリを経験したことをきっかけに理学療法士を志し、猛勉強の末資格取得し、病院・施設勤務を経て平成27年11月に当社に入社された。専門職としての知識、技術はもちろんのこと、リハビリ中の何気ない会話や笑顔で和やかな雰囲気を作り、利用者様のモチベーションをあげるあたりにプロ意識の強さを感じる。そんな小田さんの休日は旦那さんと6歳、2歳のお子さんと共にお手製弁当を作り、公園に行くことが多いそうだ。なんだか温かみを感じる。週一のママさんバレーで汗を流すアクティブな彼女、今は理学療法士としての視野を広げるために、発達障害を抱える小児リハビリの勉強も始めている。今後も当施設、在宅の利用者様の身体機能の維持・向上、そして笑顔をたくさん創り出していきたい。



PT 小田 亜矢さん

有限会社 聖 社是 「利他の心」

ひじりにズームイン!!

2017年 3月号



「福祉」とは？

私たちが携わる「福祉」のお仕事。よく「福祉」という言葉を耳にするとと思いますが、はっきり何かとはわからないし、聞かれると答えに戸惑うかと思えます。そこで、まずは「福祉」の語源をたどってみましょう。「福」も「祉」も、どちらも「幸福」や「しあわせ」を意味する漢字になります。つまり、「福祉」とは人の「しあわせ」に関係することのようです。

次に「福祉」を英語でみていきましょう。「福祉」は英語にすると「Welfare(ウェルフェア)」となります。「well=よく、十分に」「fare=生きる」という言葉が合わさってできた造語で、「よりよく生きる」という意味となります。

福祉 = welfare = well(よく、十分に) + fare(生きる、暮らす) = よりよく生きる・暮らす

もう少し「福祉=しあわせ、よりよく生きる」について考えていきましょう。自分や他のひとの「しあわせ」や「よりよい生き方」について考えたことがありますか？「しあわせ」や「よい」という言葉はとても抽象的なので答えが分かれるところだと思います。しかし、深く考えずとも、私たちは自然と気の合う友達と仲良くなったり、遊んだり、安心できる家でご飯を食べたり、眠ったりと当たり前に行っていることが「しあわせ」や「よりよく生きる」になっているのです。「しあわせ」や「生き方」はひとそれぞれ感じ方が違ってくるものなので、自分なりの「しあわせってなに？」「よりよい生き方ってなに？」という考え、答えを持つことが自分自身の「福祉」となるのだと思います。そして、他の人の「しあわせ」や「よりよい生き方」を自分の基準で良し悪しの判断をするのではなく、相手の声に耳を傾け、一緒に考えてあげることが、相手に対する「福祉」に繋がるのだと思います。

勘違いしてはいけないのが「福祉」とは「弱者の救済」ではないことです。相手が「弱者」だから、お手伝いしたり、サービスを提供しているのではなく、その人にとって「しあわせ」や「よりよい生き方」をするなかで必要であるからお手伝いをしたり、サービスを提供しているのです。

私たちが携わる「福祉」。介護や医療の知識・技術よりも、その人が「より良い人生」を送るためには何が必要か、私たちに求められることはなにか…。相手にとって何が必要なのかを理解していく「福祉」の精神を今一度見つめなおす必要がある…。
池田 豪

有限会社 聖

- 住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
- 住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
- デイサービス陽だまり (通所介護)
- 訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
- ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
- ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

職員に介護度に応じたレクリエーション研修や認知症基礎研修に参加してもらい全体ミーティングで研修報告してもらいました。内容的には、要介護1の方と要介護5ではレクリエーションの内容も変わってくるのでレベルに応じたレクリエーションを行ってみたい。また、認知症の方への対応については年々考え方や薬の使い方も変わってきており最新の対応について学ぶことが出来ました。今後も職員で知識の共有を図っていきたく思います。また3月には、年度初めの4月から一年間の研修計画を立て利用者様に喜んで頂けるようにしていきたい。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

豆まき



2/3日の節分の日こんな一報が！！14時に飛鳥島から赤鬼と青鬼がやってきて、陽だまりの人たちを襲ってやる！！とのメッセージが。「こりゃあ大変だあ。」陽だまりの人たちは鬼を退治するためのカラーボールを準備し鬼が来るのを待ち構えていたそう。すると「ウオォ～」と叫びながら大柄の青鬼がやってきて後を追うようにして女の赤鬼もやってきた。みんなの合言葉である「鬼は外、福は内」と言いながら鬼に向けてボールを投げつけたそう。すると鬼たちは「参った参った」と降参し飛鳥島に帰って行ったそう。そして鬼さんたちが逃げた後、何やら大きな荷物が。中を開けると手紙が入っていた。「飛鳥島の鬼たちを退治してくれてありがとう。陽だまりのみんなで分けて食べてね。福神様より。」とお菓子の詰め合わせが入っていたそう。こうして陽だまりは元の平和な暮らしに戻ったそう。めでたし、めでたし。

誕生日会&太鼓演奏会



2月の誕生日会&太鼓演奏会を行いました。太鼓演奏会では聖座の外部講師の重永先生の太鼓チーム「鼓遊」が来所され、勇ましい太鼓演奏や演奏に合わせて華麗な踊りもあり、利用者の皆さま拍手喝采で中には感動した方もいました。利用者のKさんは「すごかったよ。また来てもらいたいね。」と話されていました。

訪問看護からのお知らせ

大分暖かくなってきましたね。今年のインフルエンザはA型が多く、高熱があまりなく、くしゃみ、咳、痰などの風邪症状が特徴的だったように感じます。施設内でのインフルエンザの流行は落ち着きましたが、一部の学校などではまだまだインフルエンザが流行しているようなので、感染予防に注意が必要です。

感染症に関しては、宮崎県衛生環境研究所のホームページ (<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/fukushi/eikanken/index.html>) に毎週宮崎県感染症週報として発生動向が載っていますのでそれを確認していただくと、こういった感染症が流行しているのか把握できると思います。一度確認してみるのもいいと思います。

ドライブ



外を見ると雲ひとつない青い空、風もなくポカポカ陽気につられ、「ドライブに行こう」という事になり、市民の森の梅園に行ってきました。到着すると咲き誇る梅の花、甘～い香りにつられ、吸い寄せられるように梅の木の下へ。「甘～い香りがする」と言われながら何度も香りをかいでは花を眺めておられ、存分に春を感じておられました。

音楽レクリエーション



ひと月に1～2回、西田先生(テイサービス西田相談員のお母様)の協力を得て、音楽レクリエーションを行っています。利用者様からは、テイ利用日と音楽レクの日程が合わない、とてもご立腹される方もおられるほど…。毎回、昔懐かしい歌を唄い、時には踊り、笑い、むかしの良き思い出を思い出しながら楽しい時間を過ごしておられます。

ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

今回は、高齢者の免許更新についてです。免許証の更新期間が満了する日の年齢が70歳以上で免許の更新を行う方は「高齢者講習」の対象となります。なお、75歳以上の方は、認知機能検査を講習の前に受ける必要があります。また、ここで「認知症のおそれ」と判断された方は医師の診断を受け診断書の提出が必要となります。診断の結果、認知症と判断された方は運転免許の取消等の対象となります。平成29年3月12日の改正道路交通法については、免許更新のみだった認知機能検査を一定の違反行為があれば臨時の認知機能検査を受けることになりました。ここでも、「認知症のおそれ」と判断された場合は同じように診断書の提出が必要であり認知症と判断された方は免許更新は出来ないこととなります。